

知ら咲か



2015 APRIL No.23

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 1 丁目 3

URL <http://www.shirasaka8.net/>

白瀬川沿いの 8 つのマンション住民有志が、全住民の安心・安全に住み続けられるコミュニティ形成を目標にして「知らせましょ・咲かせましょ(通称“知ら咲か”)という団体をつくりました。「知ら咲か」は「知らせましょ・咲かせましょ」の広報紙です。(事務局へはTel070-5041-4405 石田まで)

特別寄稿

白瀬川兩岸地域に住む私達が知っておきたいこと (土砂災害警戒区域に指定されています)

阪急逆瀬台アヴェルテ 都築直幸

白瀬川には、夏はホタル、小魚が
生息し、ミヤマアカネが飛び、餌を
求めて野鳥が飛来して来ます。

このような環境を造ったのは、両
岸に住む人達の長期間に及ぶ努力の
たまものであり、地域に住む人達の
心を癒してくれております。

以下、この記事が対象とする地域
は、白瀬川の兩岸に位置する八つの
マンション。川の北側の二つ、南側
の六つのマンション群を対象としま
す。

- ① 逆瀬川マンション
 - ② 逆瀬台住宅
 - ③ 阪急逆瀬台マンション
 - ④ 逆瀬川グリーンハイツ
 - ⑤ 宝塚西山住宅
 - ⑥ 阪急逆瀬台アヴェルデ
 - ⑦ 逆瀬川パークマンション
 - ⑧ シャンテイー逆瀬川
- 地域の人口は、約三千二百人(二〇一三年十二月三十一日現在)、世帯数

は一四三五戸です。

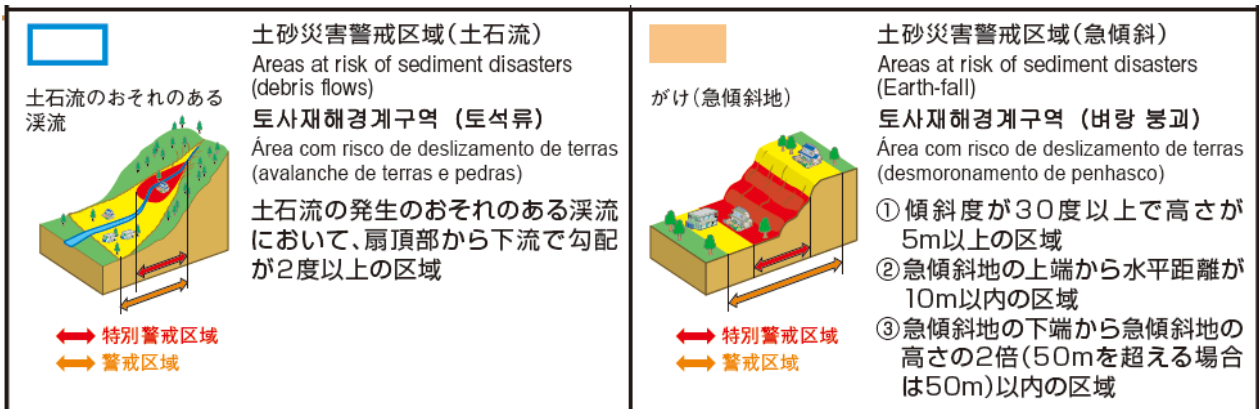
平成二十五年三月に宝塚市が発行
し、市域の全戸に配布された「宝塚
市防災(保存版)マップ」によると、
私達の住む八つのマンションの全て
が、土砂災害警戒区域(土石流、又
は急傾斜によるがけ崩れ)内に有る
ことが分かります。

*土砂災害警戒区域(土石流、又
は急傾斜によるがけ崩れ)の説
明は、下記防災マップ凡例をご
参照下さい。

まず、土砂災害警戒区域(土石流)
内に有るマンションは、上記の①、
②、③、④、⑤、⑥、⑧が該当しま
す。

これらのマンションでは敷地の
一部、敷地と建物の一部、又は敷地
と建物の全てが警戒区域内に有るこ
とが分かります。

(次ページに続く)



※浸水想定区域図は、河川改修があった場合等に兵庫県において見直しがされます。
※土砂災害警戒区域図は、兵庫県において将来見直しがある予定です。

次に、土砂災害警戒区域（急傾斜によるがけ崩れ）内に有るマンションは、上記の⑥と⑦が該当します。二つのマンションは敷地の一部、又は敷地と建物の大半が該当します。

八つのマンションの内、最上流沿いに有る、⑥の阪急逆瀬台アヴェルデの上流に砂防ダム（白瀬第一号えん提）が有り、更に上流に第二、第三号えん提が有ります。

*ゼンリン発行の宝塚市住宅地図（二〇一三年版）による。

***砂防ダム**

上流から流れてくる土砂や、
 流木を捕捉し、下流の人家、
 公共施設等を土石流から守る。

新聞によると一九三八年（昭和十三年）七月に発生した阪神大水害（犠牲者六九五五人）が国をして本格的に砂防に乗り出す契機となり、六甲山系に国が造った砂防ダムは、五三五基に及び現在も整備は続いているとのことです。

ダムを造る際の、設計基準として
 いる雨量は一時間六〇ミリ、二十四
 時間で三二六ミリを基に設計し、造
 られております。

今では一時間に一〇〇ミリの雨
 も珍しくない為、国土交通省の六甲
 砂防事務所の担当者は「これだけ雨
 が強くなれば、計画通りに災害を防
 ぐことは難しい」との考えをのべて
 います。

「知ら咲か」の前号（第二十二号）
 で昭和三十七年（一九六二年）に白
 瀬川で土石流が発生したことが紹
 介されております。幸い人的被害は
 なかったとのこと。

土砂災害は各地で発生しており
 ますが、特に昨年八月に広島市で発
 生した土砂災害（死者七十四人）を
 きっかけに、関心が高まり関係する
 記事が増えているように思います。

土砂災害警戒区域内に有るからと
 言って、必ず災害が発生するとは限
 りませんが、日々の生活の中で常に
 危機意識をもって、万一に備える必
 要があるように思います。

上記の「宝塚市防災（保存版）マ
 ップ」には、災害時の助けとなるも
 のの割合を自助（自らの避難や、ご
 家族での助け合い）七〇%、共助（こ
 近所での助け合い）二〇%、公助（消
 防・警察・自衛隊による救助）一〇%
 の三つに分類し、各々の役割を自覚
 した上での活動が期待されてお
 ります。

又、地震、大雨、土砂災害に備え
 ための情報や、避難の心得、市が
 発信する災害情報等が記載されて
 おります。

未読の方はこの際、是非確認され
 ることをお勧めします。

***防災マップが無い方は、市役所
 の総合防災課で受け取れます。**



この記事を書くことになった
 きっかけについて
 都築直幸

昨年八月、広島で土砂災害（死者七
 十四人）が発生したことを知り、以前、
 市から配布された「宝塚市防災（保存
 版）マップ」を改めて見て、私達の住
 む地域一帯が「土砂災害警戒区域」内
 にあることを確認した結果、これは人
 ごとではないと思つたのがきっかけ
 です。

もし、土砂災害が発生したらと考
 えると、これは「地域全体の問題」であ
 るため、できるだけ多くの方に知って
 いただき、危機意識を共有し、万一へ
 の備えを考える機会になればと思つ
 ておりました。

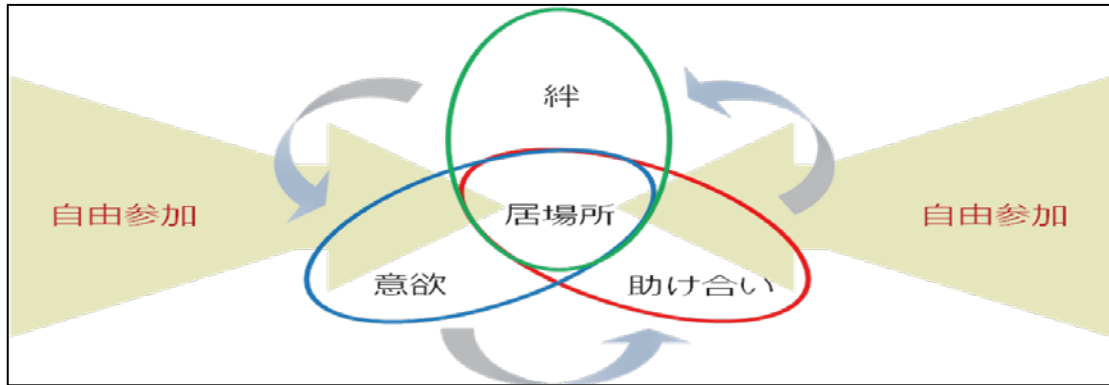
そうした時、知ら咲かの石田会長に
 お会いする機会があり、私の考えをお
 話した結果、今回の記事掲載依頼を受
 けて頂けることになりました。会長と
 の話の中で、すでに土石流の発生に備
 え、三階以上の階への避難を決めてい
 るマンションがあることをお聞きし
 ました。土砂災害対策には、避難以外
 にも課題があり、早期に検討の必要が
 あると考えております。

助け合いのコミュニティづくりの原点について

地域で「居場所」を見つけましょう。作りましょう。

*この記事はさわやか福祉財団「助け合い活動創出ブック」公開ファイルを参考に引用、加筆作成しています。

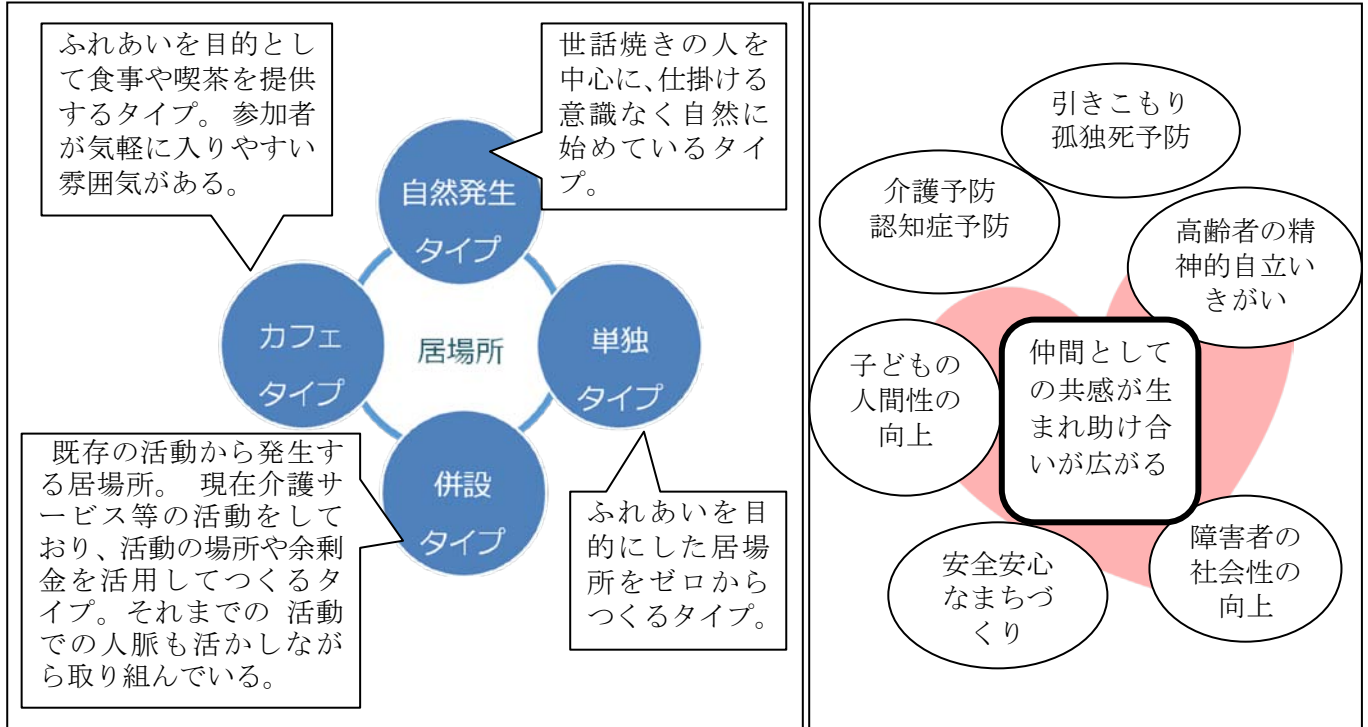
居場所：助け合いの原動力となる共感を生み出すところです。



居場所は地域に住む多世代の人々が自由に参加する場所です。そこにおける主体的な人との交わりによって生きる意欲が高まり、それぞれの間の絆（共感）が生まれるとともに、それが様々な助け合いに発展します。また、来られなくなった人を訪ねる訪問型居場所になることもあります。

居場所の種類

居場所の効果



居場所の効果例



要介護 4 から阿波踊りに参加するまで回復 (83 才 脳血管障害、1 人暮らしの女性)

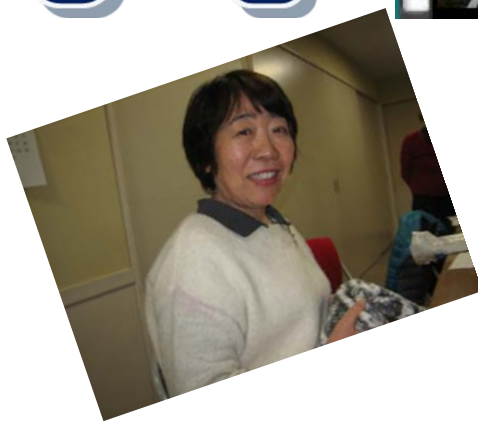


ほとんど寝たきりから「歌姫」に (87 才 圧迫骨折の女性)



杖をつかないと立ち上がれなかった元美容師さんが立ち上がって、居場所の仲間の髪を切るまでに回復

す て き な
ご 近 所 さ ん

春が来ました
寒くて震える日もあります
でも間違いなく春は来ています
桜のつぼみがふくらむ様に
自然のすばらしさを感じます
自然の中の自分
自然に感謝します



遠く離れた家族を見守りたい

石積みされた護岸・堰堤の美しい逆瀬川、今後変わることのないだろう自然環境、心を穏やかにするゆずり葉公園。こんな理由でこの地を離れたくない私ですが、やはり気になるのが離れた家族の様子です。姉は米国に住んでいて私以上に家族の様子が気になるようです。

近年、個人宅を警備するセキュリティ会社がたくさんありますがそのサービス内容によって導入のコストやランニングコストが割高なこともあり躊躇していました。

様子を知りたいければ電話 1 本すれば済むわけですが、その電話がわずらわしいと感じるのは私だけでしょうか？

そんなに話すこともないし、元気そうかどうかだけわかればいいと思っている場合、頻繁に電話をかけること自体面倒くさくなってしまいます。

なんとか目的にかなう方法がないかと考えていたところ、以前は設定等が難しかったインターネットを利用したネットワークカメラを使う方法です。言葉は悪いですが「覗き見環境の構築」です。

条件はありますが十分に目的は達成できているので事例として簡単に紹介させてもらいたいと思います。

利用条件はネットワークカメラを設置したい場所にネット回線が引かれていること（パソコンは必要ありません）。もちろんパソコンをお持ちでインターネットをご覧になっているような環境ならまったく問題ありません。新規に回線を引けば環境を満たしますが、そこまでするかどうかはよく考える必要があると思います。

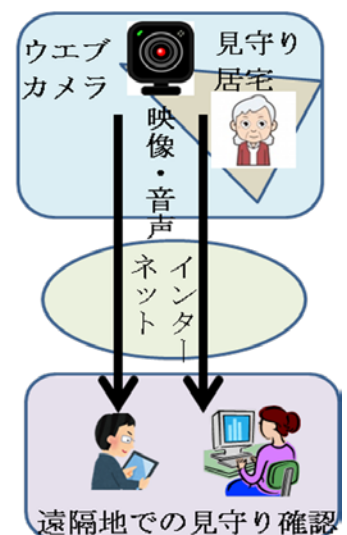
購入するのはネットワークカメラだけで 1 万円程度のもので十分です。このネットワークカメラをネット回線につなぎ、設定は見る側のスマートフォンやパソコンで行います。設置は普段家族がよく集う場所に設置します。私の場合は台所やテレビを見ている姿が見える場所に設置しています。気になるときにちょっと覗いて様子を見るだけで十分と感じるからです。

米国に住む姉のところでも非常にクリアに様子が確認できると喜んでいました。共稼ぎの姉のご主人はその様子を見て、飼っている 2 匹の犬の留守中の様子を見るのに自宅につけようと言っていたそうです。

電話などで直接話すことが理想なのかもしれませんが、母と娘、母と息子、父と娘、父と息子の関係で関わり方がやはりすこし異なるようにも思います。

留守宅の様子やペットの様子を見る目的でも使えるのでとても便利です。最近、ネットワークカメラのセキュリティの問題が新聞などで話題になっていますが、もちろん絶対はありませんが、今のシステムではさほど不安もないように思います。

インターネットで「ネットワークカメラを使った」等のキーワードで検索してもらえれば、より詳しく理解することができます。



興味をお持ちになられた方がいらっしゃれば「知ら咲か事務局」にご連絡ください。

山中 一弘

できるの？安心・安全に住み続けられるコミュニティ形成（4）

—土手の花見の逸話を参考に・・・—

前号までに私達のお付き合い度の浅さと「助けて！」と言えない日本人像を記しました。今号ではこれを克服するヒントを防災で語られている逸話からヒントを得てみます。

【土手の花見の逸話】

花見は春、寒く長い冬の間川に土手は降霜や氷結で緩んでしまいます。（現在のようなコンクリートで固められていない土を盛り上げた堤防）春を挟んで訪れるのが梅雨。土手が弱体化したところに増水が重なると土手の決壊に繋がりがねません。これを防ぐ為に仕組みられたのが「土手の花見」というイベントだということです。桜の花の下で食べて飲んで語り歌う、長い冬から明けうきうきした気分をこの集いで楽しみます。大勢の人が集まることで土手を自然に踏み固めます。緩んだ土手のメンテナンスが知らず知らずのうちにできるというアイデアです。又、多くの人が集まれば補修の必要なところも発見することも計算に入られています。土手の花見の逸話は災害文化へのヒントです。楽しいイベントだから花見に集まる。この心がうきうきとするイベントに災害に対する備えを上手に組み合わせている巧みな仕掛けであることが肝でしょう。四六時中の警戒体制やリスクを唱えても長続きしません。自然に真っ向から立ち向かう防災より、むしろ自然とうまく付き合いながらの減災がこの事例でしょう。



【自分の身は自分や家族で守る、それを確かなものにするご近所さん】

読者の方から「安心・安全に住み続けられるって聞こえはいいけれど定義の曖昧なお題目じゃないの？」との疑問が寄せられました。確かにそうなんです。国や市が担うハードだけでもないし、警察や消防の活動、医療や福祉のシステムでもないでしょう。防犯灯で夜道も明るくなります。救急体制も昔に比べて格段の進歩を見えています。でも・・・。まずは、自分自身が何か異変が起こった時に備えて準備する、起こった時に自分で行動を起こす、そしてそばに家族がいれば家族に、いなければご近所さんに助けを求める。「助けて！」と言いましょ。90%の人は「助けてあげる」気持ちを持っているのですから。一人暮らしの方に限らず自宅で一人だけになるというケースは少なくないでしょう。そんな時に起きた時の異変を救ってくれるご近所さんを持ちたいものです。自助を補完する共助、（身近な共助で近助）です。その為のいわゆる「土手の花見」でご近所さんを作りましょ。

【ご近所さんの土手の花見から近助へ、そして共助へ】

マンション生活は鍵をかけてしまえば外部から遮断され安全な空間となります。このことが逆に近所とのつながりのない孤立世帯化を進めています。日常的に参加したくなる工夫が組み込まれ、土を踏み固めるイベントが継続して開かれることが大事になります。これに参加し近所さんが知り合うことでお互いの扉を開き、気脈を通じあって助けを求めたり、助けたりの関係づくりができるでしょう。サロンや自治会、地域の行事などイベントが「土手の花見」に他なりません。

安心・安全に住み続けられるまちづくりの原点はご近所さんと「近助」の絆づくり。その「近助」を組み合わせればマンションの確固とした土手として踏み固められ「共助」となるでしょう。

【管理人徒然草】 「七方美人」の薦め

「八方美人」という言葉は 誰に対しても如才なく振る舞い、誰も敵を作らない・・・しかし強い味方も出来ない、つまりは「毒」にも「薬」にもならない人の事を、揶揄して言う言葉です。

さりとして「四方美人」と表現するなら、敵味方半々となり、かなりの火花の散る人生を送る事になるでしょうね。

多くの人々と交わり、協調しながら生きなければならない現在、如何に融和を図るか？・・・が最大の課題となるでしょうね・・・。いつも「イエスマン」では信頼を得る事は出来ませんし、「反対」ばかりでは組織やグループから弾き出されます。

自分の「信念」や「理念」をしっかり持ち、それに従って「意見を述べる」事が先ず基本。互いの意見を聞き、共通点や、譲り合える事を探り、妥結してゆくことになります。

しかし、時には「どうしても譲れない！」ものもあります。その時は不承不承の妥結をしてはいけません。必ず後々の不満、後悔として残ります。

八分の一位は「頑固で譲らない！」面を持っている・・・方がかえって「信頼」「信用」を得る事になるのでは・・・。

ある会社での事。昔気質の経営者の「節約を旨とする」方針で、郵便代ももったいない・・・と営業員に請求書を持参させ、同時に集金させていました。地方担当の営業員が集金した現金を使い込む事件が発覚しました。3年間で1千万円にも達していました。十数社にまたがり少しずつ「摘んで」いたものですから経理担当も見抜けなかったそうです。

大きな額になってしまったので怖くなり、本人が警察に出頭して判ったそうです。

経営者は怒り心頭、社内は蜂の巣をつついた状態、当の営業員を告訴する・・・といきまいていました。

それまで「イエスマン」と評されていた営業課長が、初めて社長に意見具申をしたそうです。

当の営業員が悪いのは当然、しかしもっと悪いのは社長の「何でも節約」の方針です。当社と販売先とのチャンネルが1本しかなかったからです。経理からのチャンネルをも別に持っていたら・・・こんなことは防げた筈です。細かい始末が大きな損を生んだばかりか、あたら有能な社員を駄目にしたのは社長の責任です。「イエスマン」としか見ていなかった課長からの苦言に驚きとともに、信頼感を覚えたそうです。

それからの課長は相変わらずの「イエスマン」風ではありますが、社内での信頼は大きなものとなりました。曰く「七方美人」位が良いのだ・・・と。

(水兵子)



白瀬の自然

「カルガモ」



かもの仲間で、比較的峻別のしやすいのが「かるがも」です。黒いくちばしの先が黄色いのはカルガモだけです。ただし、雌も雄も全体に茶色の細かい模様が同じでその区別が付きません。

アシなどの多い水辺のあるところに繁殖、植物食傾向が強い雑食で種子、水生植物、昆虫などを食べています。

全長は雄が約 63 cm、雌は 53 cm で翼を広げた大きさは 83 cm～99 cm くらいとのこと。

軽鴨という和名は、紀皇女が万葉集で詠った短歌「軽池の浦廻行き廻る鴨すらに玉藻の上にひとり寝なくに」の「軽池」に一年中居る鴨に因みます。

(注) 紀皇女(きのひめみこ 生没年不明)は、飛鳥時代の皇族。天武天皇の皇女。

カルガモの子どもが梅雨時によく道路を渡って引越しをする姿がニュースで伝えられたりします。この春、白瀬川でもカルガモの家族を見られるでしょうか？



白瀬川のカルガモ (3月15日撮影)

【編集後記】

お花見シーズンとなりました。逆瀬川マンションの「さくらまつり」は四月四日(土)十一時からです。B棟集会所前庭で餅つき・焼きそば・チジミなど実演販売もあり、先着順の売り切れ御免です。南側の公園のさくらは？

「五月雨をあつめて早し白瀬川」、六月の梅雨はどうでしょう？ブロック内の某マンション安全委員会では、全所帯に「豪雨の際は外出せず三階以上への避難」を広報されていますのでご参考までに・・・。

皆様ご存知の通り四月十二日(日)と二十六日(日)は県会議員と市会議員選挙日です！

白瀬川ブロック誕生迄の当地区投票率は高齢化率(市内平均の約二倍)高低差約百メートルに加え、投票所は東西約一kmの最東端など厳しい条件下で、六十投票所のブービー状態から毎回順位を上げて、遂に昨年は上位に食い込み全国で初めて国から表彰されました！今回もブロック代表の皆様が投票所の交通整理と声掛けをされます！

安全にも気をつけて投票所へお越し下さい。

(事務局・石田)

イタリアンレストラン
ロッソネロ



営業時間：ランチ 11:30～15:00 (L.O. 14:00)
ディナー 18:00～21:00 (L.O. 20:30)
定休日：水曜日
TEL&FAX：0797-72-9696
宝塚市逆瀬台1丁目11-4-202 アヴェルデ4番館 2F
www.rossonero.be5.net 「知ら咲か」広告登録会社

きっかけは
出会いから
始まる

株式会社 兵庫県知事(2)第300298号
キューコーポレーション

不動産に関することは
お気軽にお問い合わせください

宝塚市高司1-1-16(A-プライス 2F)
0797-73-0041
www.cue41.com 「知ら咲か」広告登録会社

